

総会メッセージ 2012年

フー太郎の森基金 支援者の皆様へ

皆様、いかがお過ごしでしょうか。相馬にも春の訪れが感じられる頃かと存じます。

私がラリベラ事務所に赴任して、ほぼ1年が経過いたしました。この間、震災を含め様々なことがございましたが、例年通りこの3月にご挨拶できることを大変うれしく思います。

ラリベラ事務所の活動は、震災発生にもかかわらず皆様から多大なご支援を賜ったおかげで、2011年も無事成果を上げる事ができました。ここラリベラでも震災被害の深刻さについて多くの人を知る所となり、正直なところ「フー太郎の活動継続は難しいのではないか？」といった心配の声が多数聞かれました。それでも、代表や本部スタッフの無事が確認され、なんとか活動継続の目処が立った後は、逆に目標達成に向けてスタッフの結束が高まったように思います。

お蔭様で2011年の植林目標本数は、80万本という大変高いハードルでしたが、何とか72万本まで達成することができました。会報などでもご報告させて頂きましたが、72万本の植林を達成するために、延べ日数6千日をかけて30kmにおよぶ土壌流出防止テラス建設も併せて実致しております。植林がスタートした7月中旬頃から約1ヶ月間は、6人のスタッフ、9人の現場監督が連日総出で、苗木の搬送、植林地での監督作業に従事致しました。その努力の甲斐あって、2012年の植林目標本数は残り27万本以下となりますので、JICA東北さんのプロジェクトで当初設定した150万本植林という目標は、今年10月までのプロジェクト期間内でほぼ達成できる目処が立ちました。

今後は、いかにして地元の方々が自主的かつ自力で植林地を維持・発展させられるかがプロジェクトの主題と成って参ります。そのために、今年4月からは地元へ植林地管理作業を移管するためのトレーニングを精力的に進めてまいります。この作業無しには150万本の植林も、徒労に終わってしまう危険性も多分に秘めています。スタッフ一同、この点に十分留意した上でプロジェクト最終年に望みたいと存じます。

それでは、引き続きのご支援とご指導を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。また、震災によって被害を受けられた皆様が、一日も早く普段の生活を回復されますようエチオピアスタッフ一同、祈念いたしております。本日は有難うございました。

フー太郎の森基金エチオピア事務所代表 藤村健司

15 March 2012

Dear Our Donors!

We admire our donors for their long life and for their continuous support of the rehabilitation of Lalibela & its surrounding environment, the growth of children awareness in elementary schools, and the production and planting of seedlings with the strong friendship of Ethiopian and Japanese people. Despite the natural disaster happened in northern Japan, the project is stable in FFF-Ethiopia, Lalibela, which shows how Japanese economy is strong and its peoples are hard-working. We would like our condolence for our chair person Miss. KAORI SHINTANI's mother. We had depressed. In the present moment, FFF-Ethiopia plant more than 700,000 seedlings with the area closure of more than 500 hectare of land as well as constructing terraces, half moons, check dams to reduce soil erosion and recycling compost preparation of environmental sanitation with the participation of more than 2,200 households. We wish you happy, prosperous and peaceful year of 2012!

Sisay Maregu FFF-Ethiopia Program Officer

{翻訳}

親愛なる支援者の皆様

本総会においてエチオピア事務所現地スタッフとしてご挨拶させて頂くにあたって、まず私どもの代表である新谷香織さんが、先日お母様を亡くされたことについて、深い哀悼の意を表したいと存じます。このことは私どもにとっては本当に悲しいニュースとなりました。

さて、私どもフー太郎の森基金エチオピアスタッフ並びにラリベラ市民は、支援者の皆様から大変永きに渡るご支援を途切れることなく頂戴して参りました。お蔭様で、ラリベラ並びにその周辺地域では「環境修復」「小学校での環境教育」「苗木の生産ならびに植林活動」をエチオピアと日本の友好関係発展と共に一貫して進めることができました。昨年3月の東北での大震災にもかかわらず、ラリベラでの活動を継続できたことで、改めて日本経済の底力と皆様の勤勉さについて畏敬の念を持ちました。

ここで手短にはなりますが2011年の活動成果についてご報告申し上げます。まず、昨年一年での植林本数は70万本を超えました。また、植林に先立って土壌保全のためのテラス、半月溝、チェックダムの建設も行われました。その結果500ヘクタールの大きさの土地が新たに植林地として整備されました。又、これらに関連した有機ごみの堆肥化の作業に関して、合わせて2,200世帯の参加がありました。

それでは、皆様にとって2012年が幸福で、実りの多い、また平和な年となりますよう祈念申し上げます。有難うございました。

フー太郎の森基金エチオピア事務所 プログラムオフィサー シサイ・マレグ